

平成29年度 第8回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

平成29年11月21日（火）

場 所 豊岡市役所出石庁舎2階 大会議室

所 在 地 豊岡市出石町内町1番地

開会時間 午後1時30分

閉会時間 午後2時50分

○ 出席教育長、委員の氏名

教育長 嶋 公治

委員（教育長職務代理者） 深田 勇

委員 中川 茂

委員 佐伯 和亜

委員 向井 美紀

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に参加した者の氏名

事務局	教育次長	丸谷 統一郎	
	教育総務課長	和藤 達也	
	こども教育課長	能登 琢也	
	こども教育課参事（こども支援センター所長）	福富 省吾	
	こども育成課長	宮本 ゆかり	
	教育総務課参事	正木 一郎	
	教育総務課教育総務係長	若森 和歌子	

事務局以外	生涯学習課長	小谷 士郎
	文化振興課長	木下 直樹

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名
向井 美紀 委員

第2 前回の会議録の承認
平成29年10月31日（火）開催 第7回定例会

第3 教育長の報告

第4 地域コミュニティ振興部の報告

1 生涯学習課

(1) 平成29年度豊岡市成人式について

2 文化振興課

(1) 第68回豊岡市美術展の開催結果について

(2) 青年団子ども参加型演劇「サンタクロース会議」公演について

第5 議事

○議案第20号 平成29年度12月補正教育関係予算案に関する意見について

○報告第20号 教育長が臨時に代理した平成29年度10月専決補正教育関係予算案に関する意見について承認を求めることについて

○報告第21号 寄附物件の受納について

第6 教育委員会事務局の報告

1 教育総務課

(1) とよおか教育プラン平成29年度実践計画中間外部検証結果について

2 こども教育課

(1) 豊岡市こども支援センターの活動報告等について

第7 委員活動報告

第8 教育委員会活動予定

1 次回教育委員会会議の日程について

2 今後の活動・行事予定

開会 午後1時30分

(教育長)

ただいまから平成29年度第8回教育委員会会議を開会します。

本日は、すべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告します。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1「会議録署名委員の指名」ですが、本日は、向井委員にお願いしたいと思いますので、よろしく申し上げます。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

日程第2「前回の議事録の承認について」です。

平成29年10月31日に開催しました第7回定例教育委員会会議の会議録について、委員の承認を求めるものであります。事前に配付して確認をいただいていると思いますが、誤った点、修正などなかったでしょうか。

(委員)

なし。

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録を承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

続きまして、日程第3「教育長の報告」です。前回の教育委員会会議の10月31日から本日の定例教育委員会会議までの期間における主要な教育活動の概要について報告いたします。

《教育長の報告概要》

10月31日から秋季の市政懇談会が始まった。教育関係の議題についてのみ報告する。

豊岡地域では、防犯カメラの設置と八条小学校周辺の交通量増加に伴う安全対策として、グリーンベルト設置について、意見があった。防犯カメラは、優先度の高い学校から順次設置し、八条小学校周辺道路のグリーンベルトも設置したいと答えた。

但東地域では、ふるさと教育の推進と、地元出身の教員の積極的な配置や東井義雄先生の「村を育てる学力」に理解のある教員の雇用の要望があった。ふるさと教育は但東地域に関わらず進めていること、地元出身の教員の配置は、県教委に働きかけていきたいと回答した。

11月10日、兵庫県都市教育長協議会があり、当番市である豊岡市で兵庫県内の24市の教育長が協議を行った。1つは、文部科学省が国庫補助要綱を改正し、就学援助費の入学前支給が可能になったことの対応についてであった。11の市が入学前支給を決定、もしくは入学前支給に向けて検討中であるとのことであった。本市でも来年度入学予定者から就学援助費の入学前支給を行う。

もう1つは、平成30年度から特別の教科道徳が始まるが、評価方法やその内容、カリキュラム、各市独自の教材の取り入れ方などについて情報交換を行った。

【日程 第4 地域コミュニティ振興部の報告】

(教育長)

それでは、日程第4「地域コミュニティ振興部の報告」です。平成29年度豊岡市成人式について、生涯学習課長の説明をお願いします。

1 生涯学習課

(1) 平成29年度豊岡市成人式について

《生涯学習課長の説明概要》

平成 29 年度 豊岡市成人式の概要案を資料により説明する。

今年度は 7 名の実行委員が市と一緒に準備している。開催日は、平成 30 年 1 月 7 日（日）で市民会館文化ホールで開催する。対象者は平成 9 年 4 月 2 日から平成 10 年 4 月 1 日生まれの方である。住所を異動している方もあるため、約 720 人の出席を見込んでいる。

式典を開始する前に、市長から、ぜひ豊岡に帰ってきてほしいと伝えるとともに豊岡の魅力を発信する予定である。

式典は、厳粛な状態で進める。式典終了後は、思い出の写真のフォトムービーや写真撮影を行う。式典の中継は、去年は市役所の大会議室で行ったが、200 名を越える見学者があり、今回は豊岡市民プラザのほっとステージで実施する。

（教育長）

質問等ありませんでしょうか。

（深田委員）

今年も市歌の斉唱がありますが、市歌斉唱は実行委員がするのですか。

（生涯学習課長）

はい。昨年と同様に実行委員が市歌斉唱とピアノ伴奏を行う予定です。

（教育長）

続きまして、文化振興課です。(1) 第 68 回豊岡市美術展の開催結果について、(2) 青年団子ども参加型演劇「サンタクロース会議」公演について、文化振興課長の説明をお願いします。

2 文化振興課

(1) 第 68 回豊岡市美術展の開催結果について

《文化振興課長の説明概要》

市展の開催状況について、資料に基づき説明する。

会期は 11 月 1 日から 11 月 5 日で表彰式は 11 月 3 日の文化の日に開催し、無事終了した。

出品数 4,037 点、うち 2,049 点が入賞作品である。児童生徒の佳作を除く入選以上の 1,306 点を展示した。出品数は、前年度と比較し 1,888 点減であった。児童生徒の部の 1,841 点の減は、今年度、各校園の図画の出品数を児童生徒の約 3 割程度に抑えていただくようお願いしたためである。出品数は減っているが、入賞数並びに展示数は、前年度と同程度である。

今回、書道部門から特別招待作家に 1 名、招待作家に 2 名がなられた。

美術講座は、台風の影響のため 23 日の書道の部を中止した。市展の入場者数は 8,503 人で前年と比べて 538 人下回った。応援者数は、準備から片付けまで延べ 51 名のボランティアの皆さんにご協力いただいた。

市展の優秀作品は、近日中に市ホームページのバーチャル美術館で掲載する。

(2) 青年団子ども参加型演劇「サンタクロース会議」公演について

《文化振興課長の説明概要》

青年団子ども参加型演劇「サンタクロース会議」の公演について、資料に基づき説明する。

子どもたちが演劇に親しむ機会を作ると共に、豊かな感性や発想力、また表現力を育成することを目的として、子ども参加型演劇「サンタクロース会議」を開催する。市の芸術文化参与の平田オリザさんの作・演出による戯曲である。

舞台上で様々な登場人物が、サンタクロースの存在について議論を繰り広げ、子どもたちも客席から手を挙げて発言し、会議に参加することによって物語が進行する。市内の小学校2年生が対象で、今年度初めて実施する。12月4日から13日まで4小学校を会場とし、9回上演する。

一般公演は、12月9日に日高地区のコミュニティセンター多目的ホールで開催し、2年生以外の子どもたちも多く参加していただきたい。

(教育長)

質問等ありませんでしょうか。

(委員)

なし。

【日程 第5 議事】

(教育長)

日程第5「議事」に移ります。まず、議案第20号「平成29年度12月補正教育関係予算案に関する意見について」関係課の説明をお願いします。資料は本日配付しました資料になります。教育総務課長から説明をお願いします。

○議案第20号 平成29年度12月補正教育関係予算案に関する意見について

《教育総務課長の説明概要》

平成29年度12月補正教育関係予算案を議会に提出することにつき、資料に基づき説明し意見を求める。

小学校の学校施設管理費は、平成30年度から使用予定の田鶴野・五荘・中筋小学校の特別支援教室を整備するものである。整備内容は、間仕切りやエアコンの設置、壁の塗装である。予算額は、田鶴野小学校が1,420千円、五荘小学校が1,780千円、中筋小学校が5,800千円である。

小学校施設管理事業と幼稚園施設管理事業の債務負担行為を挙げている。寺坂小学校・城崎小学校・豊岡小学校・府中小学校・三方小学校・めぐみ幼稚園のプールの改修工事費である。6月のプール開始に間に合わせるため、ゼロ市債で対応する。

《こども教育課長の説明概要》

要保護・準要保護児童・生徒関係の事業費で、小学校で4,721千円、中学校で5,699千円を計上している。今年度、平成29年度の新入学児童生徒の学用品費の補助単価が上がり、昨年度までは、小学校で20,470円が40,600円、中学校で23,550円が47,400円となり、その不足額を要求

するものである。併せて、平成 30 年度から新入学児童生徒学用品費の年度内支給を実施するための所要額を要求している。

また、就学援助の事務について、来年度からシステムを導入するため、1月からプロポーザル方式で業者の選定を行う。その費用として、6,000千円の債務負担行為を挙げている。

《こども育成課長の説明概要》

子ども子育て支援システムの改修費として、行政情報化推進事業費 848 千円を挙げている。平成 30 年 7 月から予定されている社会保障・税番号制度の改正に向けた改修であり、市が利用している他の業務システムと一体的に改修を行う。歳入は、こども育成課分として国庫補助基本額の 3 分の 2 の 390 千円を国庫補助金として計上している。

児童福祉総務費の国庫負担金等精算返納金は、平成 28 年度の子ども子育て支援交付金の精算に伴うものである。主なものは、延長保育事業や放課後児童健全育成事業、放課後児童クラブなどの事業で 4,485 千円、カバンストリート保育園を整備した保育対策総合支援事業費補助金の 5,232 千円などであり、総額は 10,533 千円である。

債務負担行為は、私立認定こども園振興事業費の補助金である。来年の 4 月 1 日に開園する、おさか おのこども園では、市は校区を越えて通園する小野地区の短時間児の通園補助を行うが、運営法人は通園車両を運行するにあたり、入札等の事務処理を事前に進めなければならない。そのため、今年度中に補助金の交付決定を行う必要があり、補助金の債務負担を設定する。内容は、通園車両の運行委託料、添乗員の費用、チャイルドシートの購入費用、小野地区の 4、5 歳の園児が小野小学校と交流授業をする時のバスの借り上げ料で 9,712 千円である。平成 30 年度小野地区の 4、5 歳の児童数が現在 24 名であるため、10 人乗りのジャンボタクシーの 3 台分の経費である。

(教育長)

質問等ありますでしょうか。

(委員)

なし。

(教育長)

それでは、議案第 20 号「平成 29 年度 12 月補正教育関係予算案に関する意見について」は、意見なしとさせていただきます。

続きまして、報告第 20 号「教育長が臨時に代理した平成 29 年度 10 月専決補正教育関係予算案に関する意見について承認を求めることについて」教育総務課課長とこども育成課長の説明をお願いします。

○報告第 20 号 教育長が臨時に代理した平成 29 年度 10 月専決補正教育関係予算案に関する意見について承認を求めることについて

《教育総務課長の説明概要》

当該案件は台風 21 号にかかる補正予算で、10 月 24 日に専決され、11 月 16 日に議会報告をされたものである。

小学校の施設管理費に台風被害にかかる修繕費用として、800 千円の予算を挙げている。城崎小学校、日高小学校、高橋小学校の 3 校の修繕である。これらの修繕で市有物件共済金 325 千円の歳入を見込んでいる。

《こども育成課長の説明概要》

保育所管理費 347 千円は、森本へき地保育園の敷地内のモミの木が強風により倒れ、門扉とフェンスが破損した。門扉とフェンスの修繕と倒木撤去の費用である。

(教育長)

質問などございませんか。

(委員)

なし。

(教育長)

それでは、報告第 20 号「教育長が臨時に代理した平成 29 年度 10 月専決補正教育関係予算案に関する意見について承認を求めることについて」は、承認いただきました。

続きまして、報告第 21 号「寄附物件の受納について」教育総務課 和藤課長の報告をお願いします。

○報告第 21 号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体 2 件、個人 2 件の寄附物件の申出があり、これを受納したので報告する。

(教育長)

質疑等はございますか。

(委員)

なし。

(教育長)

それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

【日程第 6 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

続きまして、日程第 6 「教育委員会事務局の報告」です。(1) 豊岡教育プラン平成 29 年度実践

計画中間外部検証結果について、教育総務課長の説明をお願いします。

1 教育総務課

(1) とよおか教育プラン平成 29 年度実践計画中間外部検証結果について

《教育総務課長の説明概要》

とよおか教育プラン平成 29 年度実践計画中間外部検証結果について、資料に基づき説明する。

とよおか教育プラン平成 29 年度実践計画中間外部検証は、10 月 3 日に教育委員会協議を開催し、教育委員各位に意見をいただいた。その意見を踏まえ、10 月 25 日と 11 月 7 日に検証委員による検証委員会を開催し、報告書としてまとめた。

検証委員会では担当課検証の評価が概ね妥当との検証結果だった。検証委員会では、肯定的な意見、提言や要望、現場の立場からの意見をいただいた。今後はこれらの検証や意見を踏まえ、平成 30 年度の実践計画策定を行っていきたい。

(教育長)

ご質問はございませんか。

(中川委員)

資料の表中に、外部検証委員さんの○△が 3 つありますね。委員は 3 人ではありませんが「○△が 3 つ」の意味をお尋ねします。

(教育総務課長)

委員さんはたくさんいらっしゃるのですが、委員さんはだいたい 3 名で事業を分担されています。それぞれの委員の方の意見を出していただきながら、検証委員会を進めてきました。また、検証委員会では一応△というかたちで提出され、そこでやりとりをする中で、「じゃあわかった、○にする」というようなことも検証委員会の中でありまして、最終的にこのような△○というような状況になっています。

(中川委員)

△がついたのは 134 の中のわずか 11 ということで、委員さんもずいぶん遠慮されたのではないかという率直な意見を持ちました。現場の先生も検証委員になっておられ、先生方からは否定的な意見はあまり出ないだろうし、それ以外の PTA の人たちもやはり現場の先生が本当にすごくがんばっておられるので、クレームをつけるのは遠慮されたのかなと思いました。先ほど課長からあったように、「概ね良し」であったということは、よかったと思います。中には、「現場の声を聞いてほしい」という意見が何点かありました。また、「新しい施策もいいが現場の負担が増えているような気がする」という意見や、それに関連して「勤務時間の適正化はなかなか難しく、早く校務支援システムの導入を検討してほしい」という意見もあったので、来年度これらを生かしていけばいいのではないかと思います。

1 つ、これは検討いただきたいことですが、検証委員さんのメンバーには学校関係や PTA、社会教育関係などがあるのですが、さらに地域との連携を進める点からみれば、もっと強い関係づく

りが必要だと思えます。今進めている教育では、どうしても地域との連携や協力を得なければできないものがいっぱいあると思う。コミュニティで主体的にがんばっている職員が1人でも入ってもらえれば、学校のことも理解してもらうことができるので、良いのではないかと思います。コミュニティでは、何かイベントをする場合、子どもの参加を求めるケースも考えられますが、決められた内容で「〇〇をやってくれ」というのではなく、計画段階で子ども達にも一緒にがんばってもらうという姿勢で進めていく必要がある。また、教育の様々な施策は、学校だけではなく家庭、地域においても取り組む必要があるため、できれば検証委員のメンバーにコミュニティでがんばっている人たちを加えてもらうことを一度検討してほしいと思えます。

(教育総務課長)

ありがとうございました。内部で検討させていただきます。

(深田委員)

これを見て感じたのは、やはり子育てに関する施策の課題について、検証委員の方々も感じておられるのだなと思えました。また、△が多かったのは、いちばん最後の基本方針の2の基本的方向4のあたりです。教育委員会だよりの「とよおか教育 37号」に家庭へのお願いの記事がありますが、生涯学習の面で社会教育委員の方々もたくさんおられるので、社会教育の部分についてもう少し積極的なつながりを持ちながら、具体的に取り組んでいかなければならないと感じました。来年の実践計画の中で、すべてにわたってはなかなか難しいかもしれませんが、重点項目を明確にしながら、もう少し具体的に取り組んでいかなければならないと感じました。

それから、気がかりなことは、とよおか家族の日についてです。とよおか家族の日は、私はかなり改善されてきたと思っているのですが、検証委員の方には、厳しい意見をお持ちの方がおり、ずっとこのような状態が続くようであれば、あり方そのものも考えないといけないということを感じました。

(教育総務課長)

とよおか家族の日につきましては、ここに記載している以上に厳しいご意見もありました。今回は地域コミュニティ振興部長に関係会議に入っていただき、意見を聞くことにしております。策定についても検討しながら、善処してまいりたいと思えます。

(教育長)

今、2人の委員さんに共通していることなのですが、なぜ○・妥当が回答として多いのか、1つは、ここに書かれている施策内容がわからないということがありますよね。

いちばん最初に出てくる、組織的系統的なキャリア教育の推進によるキャリアプランニング能力の育成と書かれていて、何のことだという話ですよ。検証委員さんがこのことを知って、現場でどういうふうにこれが実践されているのかを知った上で○・△・ーということができていないという現実がある。それから、自分のフィールドでわかることについては厳しい評価が出てくることもあると思うので、評価できる人を委員にするのか、それが難しければ評価できるような内容をここに入れる。網羅的に何でも入れるのではなくて、ここに書いてある内容を評価できる

かできないのかについても見通しながら入れていかないと、ただ入れただけ、私はよくわからないけれども担当課がそうだと言っているから、それはそうだなという回答になってしまう。来年度のことになるが、今後検討して、もっとスリム化し、その評価が本当に現場で生きていくものにしなければ、このプランはこれだけに終わってしまうのではないかと思います。

(中川委員)

もう1つ、コミュニティ関係者について関連することですが、昨日、児童虐待の研修会に行きました。参集者は、圧倒的に民生委員さんが多かったのですが、民生委員さんなどは、日頃から0歳からの「こんにちは、赤ちゃん訪問」で関係する世帯を回っておられます。教育委員会では、今、特別支援教育を進めていますが、なかなかそういうところまでは教育委員会はもちろん、支援センターも手が届くものではありません。民生委員の関係者も1人検証委員に入ってもらったら、大きな力になると思います。例えば、仮に検証委員として民生委員さん1人が入れば、特別支援教育における具体的な取組内容も分かっていただけし、またその人が民生委員さんの会議などで話もされると思います。一度検討をお願いします。

(教育長)

今、具体的な宿題というのは、地域との連携の視点で評価できる委員を入れてはどうかということ、それから、様々な面で学校や園でやっていることがわかってもらえるように民生委員さんを加えてはどうか、この2つが具体的に出ましたので、検討していただきたいと思います。

続きまして、こども教育課の報告に移ります。(1)豊岡市こども支援センターの活動報告等について、こども支援センター所長の説明をお願いします。

2 こども教育課

(1) 豊岡市こども支援センターの活動報告等について

《こども教育課参事(こども支援センター所長)の説明概要》

不登校、特別支援、家庭児童相談の件数等について、資料に基づき説明する。

10月のふれあいルームの利用は、実数が11名で、多い日で5～6人程度の児童生徒が利用している。

検査は、これから特に5歳児の就学に向けての検査の件数が増えてくると思われる。

【日程 第7 委員活動報告】

(教育長)

続きまして、日程第7「委員活動報告」に移ります。短時間で結構ですので、感想を含めて活動で感じられたことがありましたら、お願いしたいと思います。

(佐伯委員)

神戸で行われました新任教育委員の研修会に参加させていただきました。講師の一人は前教育長の石高さんでした。2つ講座があって、1つは教育行政に対して大学教授の先生の講義でした。使われる言葉からして難しい内容でした。その反面、石高前教育長の講演は「新任教育委員とは」

という内容で、すごくわかりやすく、私も1年経っているのですが、知らないこともたくさんありましたので、ああ、そうなんだと改めて勉強させていただきました。参加されていた他の市町村の教育委員の皆さんも「すごくわかりやすくよかったです」とおっしゃってくださいまして、私がやった講義ではないのですがすごく嬉しかったです。

続いて先週なのですが、但馬女性教育委員の研修会ということで、城崎小学校のコミュニケーション教育の授業を但馬女性教育委員の方々に見ていただきました。他の市町ではコミュニケーション授業をやっていらっしゃるのすごく新鮮に写ったようです。当日はゲーム感覚のコミュニケーションの授業を見ていただいたのですが、これにさらに演劇のコミュニケーションの授業があることを知った他の市町村の教育委員の皆さんが演劇の授業も見てみたいという意見を出されていたので、もしそういう希望が出ましたら、また3学期とか新年度、見学させていただく機会があればと思います。

(向井委員)

私も但馬女性教育委員の研修会で城崎小学校のコミュニケーション教育の授業を参観させていただきました。参観の後に平田オリザ先生の劇団の田野先生による意見交換会がありました。そこでのお話なのですが、田野先生が「今日、僕は1人の男の子に夢中でした」とおっしゃいました。ある子の行動や発言に夢中だったそうです。私たちには最初どの子かわかりませんでした。後でわかったことなのですが、校長先生のお話で「今日は特別支援学級に在籍するの男の子が2人入っていました」とおっしゃって、その内の1人の子だったのです。授業は3人のグループを作ってコミュニケーションを取ったりするゲーム感覚のものだったのですが、3人のグループが5秒以内にメンバーチェンジして4人のグループにするというものでした。何度目かに、6人のグループを5秒以内に作ると言われたときに何組かはできたのですが、ある1つのグループができなくなりました。そこにその男の子の指導力があって、うまくできて感心したというお話でした。後で校長先生が、「1年生に傘をさしてあげる優しさが、とてもある子なんです。勉強だけでなく、人として成長してくれているのです。」とおっしゃって、すごく感動しました。コミュニケーション授業が普通の勉強ではなくて、普段見れない子どものいろいろな面が見えてくる授業で、とても奥が深く、いい教育だなと思いました。

(深田委員)

学校訪問で出石中学校に行って、技術の授業を見させていただきました。技術の授業は、事前に頂いていた資料にプログラミング教育と関連があると書いてありましたので、これはぜひともしっかり見たいと思って見させていただきました。これからITとかAIとか言われるような中で、必然的にそういうものに社会が頼らざるを得ないという時代に21世紀はなっていくのだろうと思います。そうすると、やはりプログラミング教育の分野なのでしょうが、論理的な思考力だとか、プログラミング・スキル、何よりも問題解決の能力をその中でしっかりと考えさせていくことが大切だと思います。

授業内容そのものは、接触センサーを使ってプログラムロボットをゴールさせようという授業でした。最初に班でいろいろな仮説を立て、その後、それに基づいてコンピューターに入っているプログラムのソフトをいくつか使ってプログラミングをして、ロボットを走行させるという授

業でした。いろいろと情報を得ながら修正して、スムーズにどうやって早くゴールさせるかというようなことで、結局その授業の中では計測や制御のプログラムというものをしっかりと考えましようというのがその授業の肝でした。

もちろん皆さんご存じのようにプログラミング教育というのは、コンピューターを駆使してロボットを動かすことを授業でやりなさいと言っているわけではなくて、先ほど言いましたように論理的な思考力だとか、問題解決能力をどうやって高めていくかを狙いとしたものだから、別にロボットを制御できるようなことをしろと言っているわけではないのですが、授業では両方を取り入れないといけない。先生方は大変だと感じました。

そのとき思ったのは、小中、特に中学校が良いと思いますが、工業系の高校生や高校生は、プログラミング教育などのカリキュラムを受けており、その高校生と連携することで、プログラミング教育のプロローグになるのではないかということでした。小中学校の夏休み期間中の短期間でもいいので、プログラミング教育の最初の部分をつなぎ、高校生をメンターとして利用するようなことも考えてもいいのかなと思ったところです。

【日程 第8 教育委員会活動予定】

(教育長)

続いて日程第8「教育委員会の活動予定」に入ります。次回の教育委員会の会議予定や今後の活動につきまして、教育総務係長の説明をお願いします。

1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

次回の教育委員会会議、第9回定例会は、12月22日(金)午後1時30分から、立野庁舎の1階のA-1、A-2会議室で行う。

日程を調整し、第10回定例会は、1月22日(月)午後1時30分から、第11回定例会は、2月15日(木)13時30分から開催する。

2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定を資料に基づき説明する。

(教育長)

それでは、以上で本日の日程は終了となりますが、全体を通して何かございますか。

(委員)

なし。

(教育長)

それでは次回の定例教育委員会会議は12月22日(金)午後1時30分から、市役所立野庁舎1階A-1、A-2会議室で開催をします。

これもちまして、第8回定例教育委員会会議を閉会します。

閉会 午後2時50分
